

斜流送風機 データシート1【品質性能概要】＜評価基準＞

項 目		単位等	評 価 基 準	事由
0.基本事項				
	形式名		申請機種一覧表と適合している	評
1.適用範囲				
	接続ダクト径	mm、mm φ	500mm φ 以下	評
	温度範囲	℃	-15℃ ～ +40℃	JIS
	形式条件		ベルト駆動形又は電動機直動形	仕
2.性 能				
2.1 試験成績表	JIS B 8330「送風機の試験及び検査方法」による試験成績表を提出		提出されており、適合している	JIS
	JIS B 8346「送風機及び圧縮機騒音レベル測定法」による試験成績表を提出		提出されており、適合している	JIS
3.構造				
3.1 構造図、外形図等				
	外形図		提出 【参考】JIS B 8331「多翼送風機」の表10	評
	構造図		提出 【参考】JIS B 8331「多翼送風機」の図6	評
3.2 ケーシング				
	羽根外径	mm	製造者値	評
	構造		溶接、リベット締め又は折込み加工により成形補強	仕
	板厚	mm	JIS B 8331「多翼送風機」の表3による	JIS
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類		製造者標準	評
3.3 羽根車				
	羽根板厚	mm	JIS B 8331「多翼送風機」の表6による	JIS
	釣り合いの良さの等級 (JIS)	mm	JIS B 0905「回転機械－鋼製ローターの釣り合い良さ」の参考付表1 G6.3以内	JIS
	材質		鋼板(亜鉛鉄板を含む)、アルミニウム材又は合成樹脂	仕
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類		製造者標準	評
3.4 主軸				
	太さの安全率		約1.3以上	JIS
	危険速度	rpm	製造者標準	評
	使用最大回転数	rpm	製造者標準	評
3.5 軸受				
	軸受種類		原則として転がり軸受	JIS
	軸受け潤滑油補充できる構造の有無		補充できる構造を有している	仕
	軸受け潤滑油種類		グリース(JIS K 2220)または同等品	JIS
	軸受け密封方式		シール軸受けまたはシールド軸受け	仕
3.6 駆動方式				
	羽根車駆動方式		Vベルト駆動形、電動機直動形	仕
3.7 Vベルト車	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルト車溝部形状の規格		JIS B 1854「一般用Vスリーブ」又はJIS B 1855「細幅Vスリーブ」による	JIS
3.8 Vベルトガード	(Vベルト駆動の場合)			
	Vベルトガードの取付の有無		取付	仕

項 目		単位等	評価基準	事由
4.材料				
4.1 ケーシング			JISG3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」のSPCC,SPCD、JISG3101「一般構造用圧延鋼板」のSS330、JISG3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」、JISG3111「再生鋼材」のSRB330、JISG3131「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯」のSPHC	JIS
4.2 吸込コーン			JISG3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」のSPCC,SPCD、JISG3101「一般構造用圧延鋼板」のSS330、JISG3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」、JISG3131「熱間圧延軟鋼板及び鋼帯」のSPHC	JIS
4.3 羽根車主板 側板及び羽根			JISG3141「冷間圧延鋼板及び鋼帯」のSPCC、JISG3101「一般構造用圧延鋼板」のSS400、JISG3131のSPHC、JISG3302「溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯」、JISH4000「アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条」、合成樹脂	JIS
4.4 羽根車ハブ			JISG5501「ねずみ鋳鉄品」のFC200、JISG3101「一般構造用圧延鋼板」のSS330、JISH4040「アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線」、JISH4140「アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品」	JIS
4.5 羽根車ス テー・ボルト 及びナット			JISG3101「一般構造用圧延鋼板」のSS400、JISG4051「機械構造用炭素鋼鋼管」のS30C、JISG3452「配管用炭素鋼鋼管」	JIS
4.6 主軸			JISG4051「機械構造用炭素鋼鋼材」のS30C以上のもの	仕
4.7 キー			JISG4051「機械構造用炭素鋼鋼材」のS45C	JIS
4.8 軸受箱			JISG5501「ねずみ鋳鉄品」のFC200	JIS
4.9 Vプーリ	(Vベルト駆動の場合)		JISG5501「ねずみ鋳鉄品」のFC200	JIS
4.10 材料証明 (ミルシート)				
	ケーシング		提出、規格に適合	評
	羽根車		提出、規格に適合	評
	主軸(電動機直動形は除く)		提出、規格に適合	評
5. 電動機			標準仕様書「誘導電動機の規格及び保護方式」「誘導電動機の始動方式」による直動形の場合は、製造者標準仕様	仕
5.1 電動機の規格				
	名 称		単相誘導電動機、三相誘導電動機	仕
	規格番号		JISC4203「一般用単相誘導電動機」、JISC4213「低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ」、JISC4212「高効率低相三相かご形誘導電動機」、JISC4210「一般用低圧三相かご形誘導電動機」 製造者の標準仕様(小形の斜流送風機で電動機直動形に限る。)	仕
	絶縁種別		製造者標準(E種、F種 等)	評
5.2 保護方式			JIS C 4034-5「回転電気機械－第5部:外皮構造による保護方式の分類」	
	屋 外		IP44「全閉防まつ形」	仕
	屋 内(多湿箇所)		IP44「全閉防まつ形」	仕
	屋 内(その他)		IP22「防滴保護形」	仕
5.3 電動機の仕				
	出力範囲	kW	製造者値	評
	相・極数	Φ・P	JISC4203「一般用単相誘導電動機」、JISC4213「低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ」、JISC4212「高効率低相三相かご形誘導電動機」(0.75kW未満に限る)、JISC4210「一般用低圧三相かご形誘導電動機」(0.75kW未満に限る)の規定範囲	JIS
	始動方式		11kW未満:直入、11kW以上:スターデルタ等	仕

項 目	単位等	評 価 基 準	事由
6. インバータ用制御装置(可変電圧可変周波数制御装置)		特記対応	仕
インバータ用制御装置の適用の場合			仕
1)インバータ用制御装置を設ける場合は、次の保護機能を設ける。		電流表示、過負荷及び欠相保護装置は、不要とする。	仕
①過電流、欠相、過電圧等が発生した場合の電動機停止する保護機能		具備	仕
②短絡により作動する保護制御機能		具備	仕
③ストール防止機能		具備	仕
④継電器等のコイル部のサージ対策		サージキラー等を具備	仕
⑤制御方式		正弦波パルス幅変調方式又はパルス振幅変調方式	仕
⑥瞬時の電圧低下対策		自動回復運転機能を具備	仕
⑦負荷特性に合わせた加減速時間の調整		製造者にて適切に調整したもの	仕
2)高調波対策(特記による)		特記対応とし、特記が無ければ下記(a)から(d)のいずれかによる	仕
①高調波対策		(a)高調波対策として直流リアクトル等により、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」及び「高調波抑制対策技術指針((一社)日本電気協会)」による換算係数 $K_i=1.8$ 以下(交流側リアクトルで $K_i=1.8$ となる対策を除く)となる対策	仕
		(b)JIS C 61000-3-2「電磁両立性 - 第3-2 部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相当りの入力電流が20A 以下の機器)」が適用された機器	仕
		(c)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上のインバータ制御装置	仕
		(d)基本波力率が1 であるときの入力力率が0.94 以上となるように、直流リアクトル等と組み合わせたインバータ制御装置	仕
②高周波ノイズ対策用		入力側に零相リアクトル等を設ける。ただし、インバータ制御装置本体に零相リアクトル等が内蔵されているものは除く。	仕
7. 塗装			
7.1 外面	外面塗装種別	製造者標準	評
	外面塗装下塗り回数	製造者標準	評
	外面塗装仕上げ回数	製造者標準	評
7.2 内面	内面塗装種別	製造者標準	評
	内面塗装下塗り回数	製造者標準	評
	内面塗装仕上げ回数	製造者標準	評
8. 附属品			
	相フランジ(フランジ接続の場合に限	設置	仕
	動力接続の種類	電源用端子台、電源用コード(約1m)	仕
	銘板	設置	仕
9. 銘板			
	銘板に表示する内容		
	1.製造者名	社名	承
	2.形式	製造者標準	承
	3.呼び番号	No、mm	承
	4.製造年月	製造年月又は製造年	承
	5.製造番号	製造者標準	承
	6.風量	m^3/h	承
	7.静圧	Pa	承
	8.回転数	min^{-1} (rpm)	承
	9.電源	ϕ , V, Hz	承
	10.電動機出力	kW	承
10. 提出書類の確認(納入時)			
	承諾図	提出できること	承
	完成図	提出できること	承
	取扱説明書	提出できること	承
	試験成績書	提出できること	承
	基礎ボルト耐震計算書	提出	設

評価基準の事由

仕 : 標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による
 設 : 設計基準の掲載事項による
 承 : 機材承諾図様式集の掲載事項による
 評 : 評価事業による確認事項
 JIS : 日本産業規格の規定による